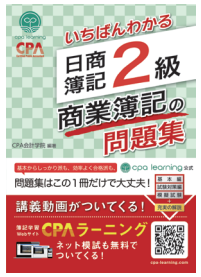


お客様各位

2023年4月26日

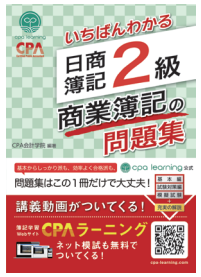
CPA会計学院

『いちばんわかる日商簿記２級　商業簿記の問題集』

── 誤植のお詫びと訂正 ──

弊社発行の『いちばんわかる日商簿記２級　商業簿記の問題集』につきまして、以下の誤りございました。
お客様におかれましては、ご迷惑をおかけしたことを謹んでお詫び申し上げます。
つきましては、お手数ながら、訂正の上ご利用いただきますようお願い申し上げます。

頁	訂正箇所	〈訂正前〉	〈訂正後〉
8	解答・解説 ４．　五行目	この仕訳により、決算整理後残高試算表計上額は次のようになる。 仕入：解答後T/B11,000,000＋棚卸減耗損40,000＋商品評価損48,000＝11,088,000 棚卸減耗損：計上されない 商品評価損：計上されない	この仕訳により、決算整理後残高試算表計上額は次のようになる。 仕入：解答後T/B11,000,000+棚卸減耗損40,000+商品評価損148,000=11,188,000 棚卸減耗損：計上されない 商品評価損：計上されない
243	２.仕訳⑨ ③　Ｃ社株式の時価評価	③　Ｃ社株式の時価評価 （借）その他有価証券（Ｃ社）［資産+］　7,800※1　（貸）繰延税金資産［負債+］　2,340※2 その他有価証券評価差額金［純資産+］　5,460※3 ※1　その他有価証券：Ｃ社株式時価49,800－取得原価42,000＝7,800 ※2　繰延税金負債：評価差額7,800※1×税率30％＝2,340 ※3　その他有価証券評価差額金：評価差額7,800※1－繰延税金負債2,340※2＝5,460	③　Ｃ社株式の時価評価 （借）その他有価証券（Ｃ社）［資産+］　7,800※1　（貸）繰延税金負債［負債+］　2,340※2 その他有価証券評価差額金［純資産+］　5,460※3 ※1　その他有価証券：Ｃ社株式時価49,800－取得原価42,000＝7,800 ※2　繰延税金負債：評価差額7,800※1×税率30％＝2,340 ※3　その他有価証券評価差額金：評価差額7,800※1－繰延税金負債2,340※2＝5,460



お客様各位

2022年９月15日

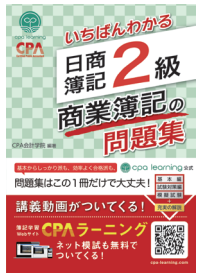
CPA会計学院

『いちばんわかる日商簿記２級　商業簿記の問題集』

── 誤植のお詫びと訂正 ──

弊社発行の『いちばんわかる日商簿記２級　商業簿記の問題集』につきまして、以下の誤りございました。
お客様におかれましては、ご迷惑をおかけしたことを謹んでお詫び申し上げます。
つきましては、お手数ながら、訂正の上ご利用いただきますようお願い申し上げます。

頁	訂正箇所	〈訂正前〉	〈訂正後〉
228	解答欄　問１ 総勘定元帳　繰越商品	総勘定元帳 繰越商品 9/1　前月繰越　(　　)　9/30　売上原価　(　　) ＜　＞[　　]　(　　)　＜　＞[　　]　(　　) ＜　＞[　　]　(　　) ＜　＞[　　]　(　　) (　　)　(　　)	総勘定元帳 繰越商品 9/1　前月繰越　(　　)　9/30　仕　　入　(　　) ＜　＞[　　]　(　　)　＜　＞[　　]　(　　) ＜　＞[　　]　(　　) ＜　＞[　　]　(　　) (　　)　(　　)
239	７. 表５行目　X3年８月１日	取引日 / 摘要 / 内容 X3年４月１日 / 前期繰越 / 必要な事項について再振替仕訳を行った。 X3年５月10日 / 売却 / Ａ社株式をＹ社に22,500千円で売却し、代金は後日受け取ることにした。また、売却価額とは別に800千円を手数料として証券会社に現金で支払っており、売却損益と相殺する。 X3年５月29日 / 代金受取 / Ａ社株式売却に伴う代金を全額Ｙ社振出の小切手で受け取った。 X3年８月１日 / 購入 / Ｅ社社債を売買目的有価証券としてＺ社から600,000千円（額面と等しい）で購入し、端数利息分とともに、当座預金から支払った。金融機関に支払った手数料1,500千円が購入価額とは別途生じており、当該手数料	取引日 / 摘要 / 内容 X3年４月１日 / 前期繰越 / 必要な事項について再振替仕訳を行った。 X3年５月10日 / 売却 / Ａ社株式をＹ社に22,500千円で売却し、代金は後日受け取ることにした。また、売却価額とは別に800千円を手数料として証券会社に現金で支払っており、売却損益と相殺する。 X3年５月29日 / 代金受取 / Ａ社株式売却に伴う代金を全額Ｙ社振出の小切手で受け取った。 X3年７月31日 / 購入 / Ｅ社社債を売買目的有価証券としてＺ社から600,000千円（額面と等しい）で購入し、端数利息分とともに、当座預金から支払った。金融機関に支払った手数料1,500千円が購入価額とは別途生じており、当該手数料
242	２.仕訳(4) Ｘ３年８月１日（Ｅ社社債の購入）	(4)　X3年８月１日（Ｅ社社債の購入） (借)　売買目的有価証券(Ｅ社)　[資産+]　601,500※1　(貸)　当座預金　[資産−]　603,720 有価証券利息　[収益−]　3,720※2　現金　[資産−]　1,500 ※1　売買目的有価証券：購入代価600,000＋付随費用1,500＝601,500 ※2　有価証券利息（端数利息）：額面600,000×7.3%×31日（X3.7.1 ～ X3.7.31）/365日＝3,720	(4)　X3年７月31日（Ｅ社社債の購入） (借)　売買目的有価証券(Ｅ社)　[資産+]　601,500※1　(貸)　当座預金　[資産−]　603,720 有価証券利息　[収益−]　3,720※2　現金　[資産−]　1,500 ※1　売買目的有価証券：購入代価600,000＋付随費用1,500＝601,500 ※2　有価証券利息（端数利息）：額面600,000×7.3%×31日（X3.7.1 ～ X3.7.31）/365日＝3,720



お客様各位

2022年８月29日

CPA会計学院

『いちばんわかる日商簿記２級　商業簿記の問題集』

── 誤植のお詫びと訂正 ──

弊社発行の『いちばんわかる日商簿記２級　商業簿記の問題集』につきまして、以下の誤りございました。お客様におかれましては、ご迷惑をおかけしたことを謹んでお詫び申し上げます。

つきましては、お手数ながら、訂正の上ご利用いただきますようお願い申し上げます。

頁	訂正箇所	〈訂正前〉	〈訂正後〉
141	解答・解説　問１ 満期保有目的債券の有価証券評価損	満期保有目的債券 4/1　前期繰越　76,800　3/31　次期繰越　77,600 3/31　有価証券評価損　800 77,600　77,600	満期保有目的債券 4/1　前期繰越　76,800　3/31　次期繰越　77,600 3/31　有価証券利息　800 77,600　77,600